

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2004-217155 (P2004-217155A)  
 【公開日】平成 16 年 8 月 5 日 (2004.8.5)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-030  
 【出願番号】特願 2003-9368 (P2003-9368)  
 【国際特許分類第 7 版】

B 6 0 T 8/26

B 6 0 T 8/58

【F I】

B 6 0 T 8/26 H

B 6 0 T 8/58 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 2 月 14 日 (2005.2.14)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 2 3  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 2 3】

すなわち図 2 において、車両のブレーキ時の制動力配分制御にあたっては、ブレーキ状態の時刻  $t_1$  で制動力配分制御が開始されるのに応じて後輪に対応した第 2 および第 4 常開型電磁弁 6 B, 6 D が閉弁し、それに応じて後輪側のブレーキ液圧が前輪側のブレーキ液圧よりも低く抑えられる。而して後輪の車輪速度が、時刻  $t_2$  で車体停止直前の所定速度  $V_0$  たとえば  $2 \text{ km/h}$  以下に低下してから所定時間  $T$  たとえば  $300 \text{ msec}$  が経過した時刻  $t_3$  で制動力配分制御が終了することになり、時刻  $t_3$  で第 2 および第 4 常開型電磁弁 6 B, 6 D が開弁し、それに応じて後輪側のブレーキ液圧が前輪側のブレーキ液圧と等しくなるように増圧側に变化する。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 2 6  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 2 6】

本発明の第 2 実施例として、図 3 で示すように、ブレーキ状態の時刻  $t_1$  で制動力配分制御が開始されるのに応じて後輪に対応した第 2 および第 4 常開型電磁弁 6 B, 6 D を閉弁し、たとえば後輪の車輪速度が、時刻  $t_2$  で車体停止直前の所定速度  $V_0$  たとえば  $2 \text{ km/h}$  以下に低下してから、さらに推定車体減速度が設定減速度  $DV_0$  以下となる時刻  $t_3$  で制動力配分制御を終了するようにしてもよい。